

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。



《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

伊泊院長就任のあいさつ



伊泊 広二

令和元年10月1日から沖縄協同病院の七代目の院長に就任致しました伊泊広二(いどまり こうじ)申します。これまで、脳神経外科医としての診療を通して大勢の患者さん、病院を利用する皆さんと接し多くを学んで参りました。

さて、当院は医療生協のセンター病院として1976年3月に豊見城真玉橋に開院し、2009年6月より現在の古波蔵に急性期病院280床として新築移転しました。病院を利用する多くの皆様、組合員の皆様に支えられながら、この10年で那覇南部地域の急性期医療を担う総合病院へと成長させていただきました。私たちは「人権と命の尊厳を守る無差別平等の医療を行います。地域とともに平和で健康に暮らせるまちづくりをおこないます」という理念のもと、日々の診療にあたっております。今後も職員一丸となって、人権を尊重し協力協同の営みとしての医療をすすめて参ります。また、社会資源の活用と、社会保障制度の改善を求める活動をしながら、平和で健康に暮らせる社会をつくっていきます。しかし、これらはひとつの医療機関ですべて完結することは非常に困難な時代です。地域の医療機関や施設、医師会と更なる連携を進めて行きます。医療活動を進める中で、さらに高度医療に対応できる医療機器と快適な療養環境を整備します。皆様のご協力とご支援が必要です。どうぞよろしくお願い致します。

仲程院長退任のあいさつ



仲程 正哲

組合員の皆様、日頃より当院の医療活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。沖縄協同病院は急性期医療を強化するため2009年6月に豊見城市真玉橋から現在的那覇市古波蔵に移転しました。あっという間に10年が経ちました。私は移転と同時に院長の任を受けましたが、ここまで来れたのはひとえに組合さんや地域住民の皆様の支えがあったからです。いつでも誰にでも良い医療を提供するため歩んで参りました。救急車を断らない事をモットーに急性期病院としての誇りと責任を持って頑張って参りました。素晴らしい多くの職員と共に頑張ってきたこの10年は、私にとってこの上なく恵まれた10年間でした。職員の皆さんにも、心より感謝申し上げます。

さて、私事ですが9月30日をもちまして院長の任を退く事と相成りました。この10年間の御厚情に対しまして深甚なる感謝申し上げます。なお、新院長には現副院長で頑張っている伊泊広二医師が就任いたします。これまで同様、皆様のご協力ご指導をよろしくお願い申し上げます。今後、私は院長の任を退いた後、管理業務は外れますが、引き続き日常診療は継続いたしますので、宜しくお願い致します。沖縄協同病院をワッター病院としてこれからも地域住民、組合員の命と健康、暮らしを守る砦としてみんなで頑張っていきましょう。



旧沖縄協同病院



新沖縄協同病院

病院の活動状況<2019年8月度>

- ・外来一日平均患者数：396人(前年同月比 -83人)
- ・入院一日平均患者数：303人(前年同月比 -7人)
- ・組合員利用分量(率)：51.8%(前年同月比 -7.0%)

ケロイドと肥厚性瘢痕

いっしょに

157 形成外科より



皆さん、はじめまして。二〇一九年四月より沖縄協同病院形成外科に着任いたしました、北村と申します。よろしくお願いします。

いたします。最近では沖縄県内でも形成外科のある総合病院が増えて来ましたが、形成外科にまだなじみがない方も多いかもしれません。形成外科の役割のひとつに、キズや傷あとをきれいに治すことがあります。今回は、「傷あと」のうちケロイドと肥厚性瘢痕についてお話ししたいと思います。

転んで怪我をしたり、熱湯でのやけど、手術などによって傷あとができます。この傷あとが赤くなりミミズ腫れのように盛り上がるものが肥厚性瘢痕やケロイドと言われるものです(もとの傷あとに一致して腫れるものを肥厚性瘢痕、もとの傷よりも大きく腫れるものをケロイドといふことが多いです)。この肥厚性瘢痕やケロイドができやすい体の部位は皮膚に強い張力のかかる胸、肩、そけい部などです。また妊娠中、高血圧、糖尿病の患者さんはできやすいと言われています。主な治療には内服薬、外用薬、注射療法、手術療法、放射線療法などがあります。以前は効果的な治療法も少なく、体質によるものなので諦めざるを得ないと考えられていました。しかし近年その原因が解明されつつあり、根治できる疾患となりました。とくに肥厚性瘢痕やケロイドは傷あとが小さい内から治療することで、根治までの時間を短くすることが可能です。盛り上がった傷や目立つ傷あとなどでお悩みの方がいらっしやいましたら、ぜひお気軽に形成外科外来までお越しください。

形成外科 北村卓也

被爆を学ぶ旅



去った八月、広島で原爆ドームをスケッチする機会がありました。戦争や被爆体験を学び語り継ぐことは、私たち世代の使命だと決意を新たにしました。

画・内科医 上原 和博



<ご意見・ご要望>

小児科の先生方、4階病棟スタッフの方々、ありがとうございました。おかげ様で元気に退院することができます。

10年近く前にも上の子が入院してお世話になった事がありますが、手厚い医療、看護がさらに良くなっていると思いました。

離乳食も食べやすいメニューになっていて助かりました。

これからも子供たちのために頑張ってください。

お知らせ

医師体制の都合により、**2019年11月1日より、毎週土曜日の外科外来診療を終了することになりました。**利用者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2019年10月1日
沖縄協同病院 院長

上原和博 絵画展の案内

会期：2019年10月1日(火)～
10月31日(木)

AM11:00～PM11:00

(祝祭日PM7:00まで 日曜定休)

会場：茶房&酒房 毬(まり)

(パレットくもじ 9F)

整形外科外来体制表

○2019年11月1日から火・水のみ予約制になります。

		月	火	水	木	金
午前	一診	上原 健	上原昌義 (予約制)	上原昌義 (予約制)	上原 健	上原 健
	二診	金城 仁	津田智弘 (予約制)	津田智弘 (予約制)	金城 仁	若林 創

診療開始時間：9時～

受付終了時間：10時



側溝の沈砂池

だという。どんどん「ンジュグワー」が「側溝」に変わっていく。それに伴い、人の心もコンクリート化していく。今となつては自然の懷に抱かれて過ごした幼少時代は私の心の財産になっている。

ハルサー 金城 稲子

ハルサー
だより[®]

ンジュグワー

畑と道の間には側溝がある。土地改良をする三〇年前は「ンジュグワー」と言っていた。感覚的にはブロック等の人工物で作られたのが側溝で、掘っただけの溝がンジュグワーという感じだ。川巡り

をしてンジュグワーがあるという小川の水もさらさらと…♪と口ずさんでしまう。子どもの頃は親がキビ倒しをしている間、ンジュグワーで遊んだ。どこのンジュグワーも饒波川に注いでおり、台風の際は川からスッポンや上海ガニそっくりのモクスガニが上がってきた。台風の後には父に肩車されてカニ釣りに行った。チンブク竹の釣り竿と1センチのイカ天を餌にして濁流に投げ入れるのである。すると入れ食い状態でカニが釣れたものだ。カシガール袋いっぱいのカニを沸騰したシンメナービに放り込むと鍋の中が灰色からみるみる赤に変わっていく。その様子は今でも鮮やかに思い出す。

還暦を過ぎて回想することが多くなった。不思議なことに想い出すのは、バンシルー、桑の実、野イチゴのあった場所、山学校してススキの家でナンバンギセルに囲まれて過ごしたこと、ンジュグワーでウナギ、カニ、小魚を捕って遊んだこと等である。学校での出来事は何一つ思い出せないのはなんだろうか。

さて、沖縄の地価上昇率は現在全国1位である。観光客の増加でホテル建設や県外企業の進出が活発化しているため